



 Kodawari - The Pursuit of Perfection

Gryphon 1D

Gryphon 2D

Gryphon

QuickScan1D

QuickScan2D

Touch

PowerScan 1D

PowerScan 2D

GD4130 GBT4100

GD4430 GBT4400

GFS44x0

QD2131 QBT2131

QD2430 QBT2400

TD11x0

PD7130

PD9530 PBT9500



スキャナ設定ガイド

REV.Z-1 2016 年 12 月

IDEC AUTO-ID SOLUTIONS株式会社

適合性について

本製品は、VCCI に適合しています。操作は以下の条件に従います。

1. この装置は有害な干渉を起こさない。
2. この装置は、誤作動を起こす可能性がある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければならない。

本製品は、VCCI に適合したクラス B デジタル装置です。

ご注意

本書の内容の全部または一部を無断で複製・配布することを禁じます。本書の内容は予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。本書の内容には万全を期していますが内容を保証するものではありません。ご不審な点や誤り記載漏れなどお気づきのことがありましたら、ご購入された販売店もしくは IDEC AUTO-ID SOLUTIONS までお問合せ下さい。また、本書を利用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承下さい。

IDEC AUTO-ID SOLUTIONS 株式会社

本社

〒661-0967 兵庫県尼崎市潮江 5 丁目 8 番 10 号

TEL : 06-7711-8880 FAX : 06-6398-3202

東京支店

〒108-6014 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号

TEL : 03-5715-2177 FAX : 03-5715-2178

名古屋支店

〒464-0850 愛知県名古屋市千種区今池 4 丁目 1 番 29 号

TEL : 052-732-1561 FAX : 052-732-1562

目次

1. 初期設定およびユーザー設定	7
初期設定	7
カスタム設定	7
ソフトウェアバージョン	7
ケーブル接続方法 (PD9530 シリーズ)	8
ケーブル接続方法 (PD7130 シリーズ)	8
BC9xx0 ベースステーションのケーブル接続方法	9
キーボードウエッジ ケーブル接続方法	10
USB ケーブル接続方法	11
ベースステーションセットアップ (GBT4100, GBT4400)	12
2. RS-232, USB-COM 設定	14
インターフェースの選択	14
通信ボーレート (RS232 のみ設定可能)	14
パリティ (RS232 のみ設定可能)	15
データビット (RS232 のみ設定可能)	15
ストップビット (RS232 のみ設定可能)	16
ハンドシェイク (RS232 のみ設定可能)	16
キャラクタ間遅延 (RS232, USB-COM 設定可能)	17
ACK NAK (RS232, USB-COM 設定可能)	17
ACK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)	18
NAK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)	18
ACK NAK タイムアウト (RS232, USB-COM 設定可能)	18
ACK NAK リトライ回数 (RS232, USB-COM 設定可能)	19
有効／無効コマンド設定 (RS232, USB-COM 設定可能)	19
3. キーボードウエッジ, USB キーボード	20
インターフェースの選択	20
キーボード言語	20
Caps Lock	21
Num Lock	21
コード間遅延	22
USB キーボード ポーリングレート	22
USB キーボード コントロール キャラクタ	22
4. 機能設定	24
2 度読み防止時間	24
読取モード設定 (GFS モデル除く)	25
スタンド設定 (GD4130, GBT4100, QD2131)	26
スリープモード設定	28
読取表示	28
読取確認音	29
読取確認音質	29
読取確認音長さ	30
読取確認音量	30
読取確認 LED 表示	31
グリーンスポット表示	31
2 次元照準設定	32
ピックモード	32
液晶画面モード	32
反転コード設定	33
2 次元反転コード設定	33
マルチラベル読取	34
マルチラベル出力 (コード長さ順)	34
マルチラベル出力 (コード種類順)	35

5. バーコード設定	36
ALL disable	36
EAN/JAN13	36
EAN/JAN13 チェックデジット送信	36
EAN/JAN13 デコード検証回数	37
EAN/JAN 8	37
EAN/JAN 8 チェックデジット送信	38
EAN/JAN 8 EAN/JAN 8 → EAN/JAN 13 変換	38
EAN/JAN 8 デコード検証回数	39
UPC-A/UPC-E	39
UPC-A	39
UPC-A チェックデジット送信	40
UPC-A → EAN/JAN 13 変換	40
UPC-E	40
UPC-E チェックデジット送信	41
UPC-E → EAN/JAN 13 変換	41
UPC-E → UPC-A 変換	41
UPC-E デコード検証回数	42
GTIN 変換	42
EAN/JAN/UPC アドオン	43
Code39	43
Code39 チェックデジット計算	44
Code39 チェックデジット送信	44
Code39 スタート/ストップキャラクタ送信	44
Code39 Full ASCII 変換	45
Code39 デコード検証回数	45
Code39 桁数	46
Code39 桁数設定	46
Code128	47
Code128 チェックデジット送信	47
Code128 デコード検証回数	48
Code128 桁数	48
Code128 桁数設定	49
GS1-128	49
I 2 OF 5	50
I 2 OF 5 チェックデジット計算	50
I 2 OF 5 チェックデジット送信	50
I 2 OF 5 デコード検証回数	51
I 2 OF 5 桁数	51
I 2 OF 5 桁数設定	52
CODABAR	52
CODABAR チェックデジット計算	53
CODABAR チェックデジット送信	53
CODABAR スタート/ストップ キャラクタ送信	53
CODABAR スタート/ストップ キャラクタセット	54
CODABAR デコード検証回数	54
CODABAR 桁数	55
CODABAR 桁数設定	55
Code93	55
Code93 チェックキャラクタ計算	56
Code93 チェックキャラクタ送信	56
Code93 デコード検証回路	57
Code93 桁数	57
Code93 桁数設定	58

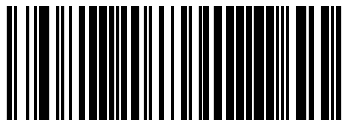
GS1 DataBar オムニダイレクト	58
GS1 DataBar オムニダイレクト EAN/JAN128 エミュレーション	58
GS1 DataBar オムニダイレクト デコード検証回数	59
GS1 DataBar エクспанテッド	59
GS1 DataBar エクспанテッド EAN/JAN128 エミュレーション	60
GS1 DataBar エクспанテッド デコード検証回数	60
GS1 DataBar エクспанテッド デコード桁数	61
GS1 DataBar エクспанテッド 桁数設定	61
GS1 DataBar リミテッド	61
GS1 DataBar リミテッド EAN/JAN128 エミュレーション	62
GS1 DataBar リミテッド デコード検証回数	62
QR コード	63
QR コード 桁数	63
QR コード 桁数設定	63
MicroQR コード	63
MicroQR コード 桁数	64
MicroQR コード 桁数設定	64
Datamatrix	64
Datamatrix スタイル	65
Datamatrix 桁数	65
Datamatrix 桁数設定	65
Maxicode	66
Maxicode プライマリメッセージ送信	66
Maxicode 桁数	66
Maxicode 桁数設定	66
Aztec	67
Aztec 桁数	67
Aztec 桁数設定	67
PDF417	67
PDF417 桁数	68
PDF417 桁数設定	68
MicroPDF417	68
MicroPDF417 桁数	68
MicroPDF417 桁数設定	69
GS1 DataBar オムニダイレクト 2D コンポーネント	69
GS1 DataBar エクспанテッド 2D コンポーネント	69
GS1 DataBar リミテッド 2D コンポーネント	70
6. データ編集	70
データ編集の概要	70
Prefix / Suffix	70
AIM ID	71
GS1-128 AIM ID	71
ラベル ID	71
ラベル ID コントロール	71
ラベル ID セット	72
ラベル ID 個別設定	73
大文字小文字変換	76
キャラクタ変換	76

7. Bluetooth 設定 (PBT9500, GBT4100, GBT4400, QBT2131, QBT2400)	77
PBT9500,GBT4100,GBT4400,QBT2131,QBT2400 各シリーズ バッテリの取扱について	77
ベースステーションの設定 (BC9xx0)	78
RS232 接続	78
USB-COM 接続	78
USB キーボード接続	78
ベースステーション接続 (PBT9500)	78
PC 接続 - サーバーモード	78
PC 接続 - クライアントモード	78
PC 接続 - HID モード	79
PowerOff	79
ベースステーション接続 (GBT4100, GBT4400, QBT2131, QBT2400)	79
ベースステーションの接続確認 (GBT4100, GBT4400, QBT2131, QBT2400)	79
PowerOff	79
PC 接続 - サーバーモード	79
PC 接続 - クライアントモード	80
BT セキュリティモード	80
BT PIN コード	80
BT ポーリングレート	81
ビープ音質	82
ビープ音量	82
ビープ音長さ	83
ベースステーション確認音	83
通信圏外アラーム	84
パワーダウン時間	85
バッチモード	86
付録 A. ケーブルガイド	87
付録 B. LED 表示とビーパー音	87
PD7130, スキャナ本体	88
付録 C. 初期値一覧	89
付録 D. キーパッド	93
付録 E. キーマップ	94
付録 F. ASCII チャート	95

本設定ガイドは1次元スキャナ、2次元スキャナ兼用の設定ガイドです。
2次元スキャナ専用の設定は設定コードが2次元で作成されておりますので、1次元スキャナでは設定することはできません。

1. 初期設定およびユーザー設定

初期設定



設定を工場出荷時に戻す（注意！！カスタム設定の内容も消去されます）

カスタム設定



設定をカスタム設定に戻す



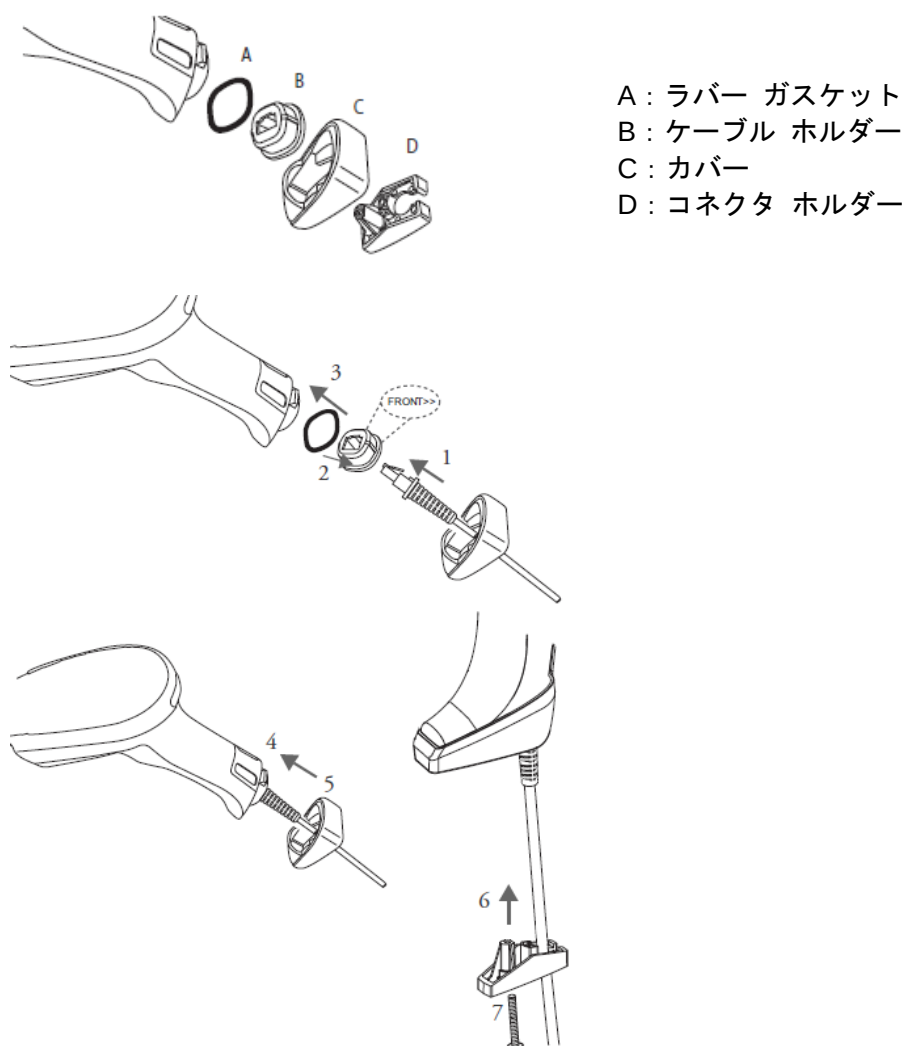
カスタム設定をする

ソフトウェアバージョン

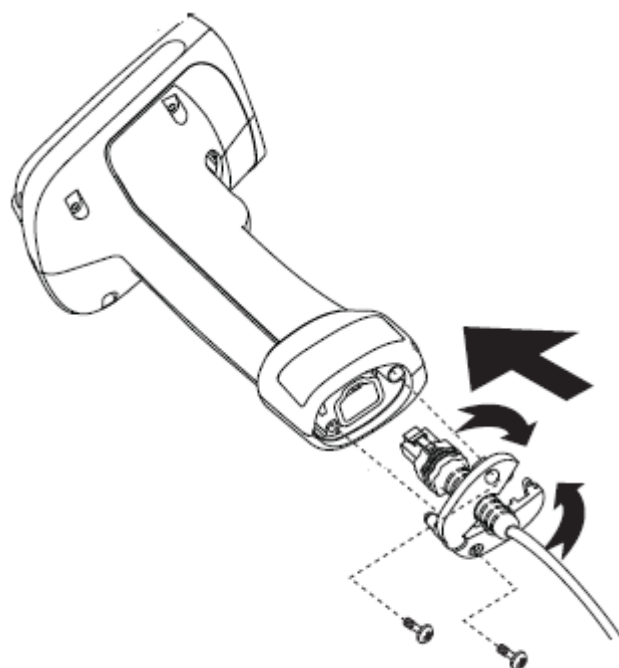


ソフトウェアバージョン送信

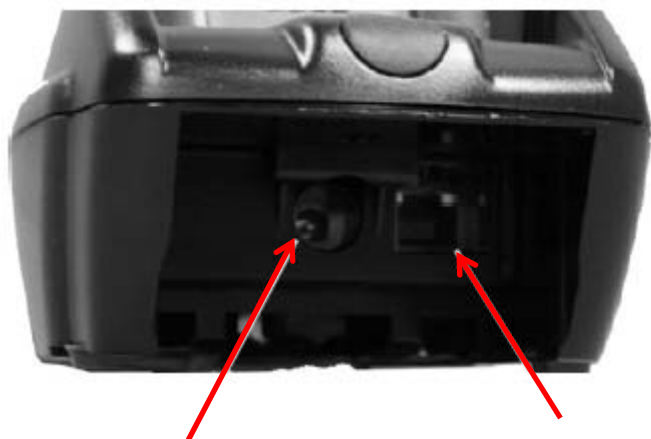
ケーブル接続方法（PD9530 シリーズ）



ケーブル接続方法（PD7130 シリーズ）



BC9xx0 ベースステーションのケーブル接続方法



電源コネクタ

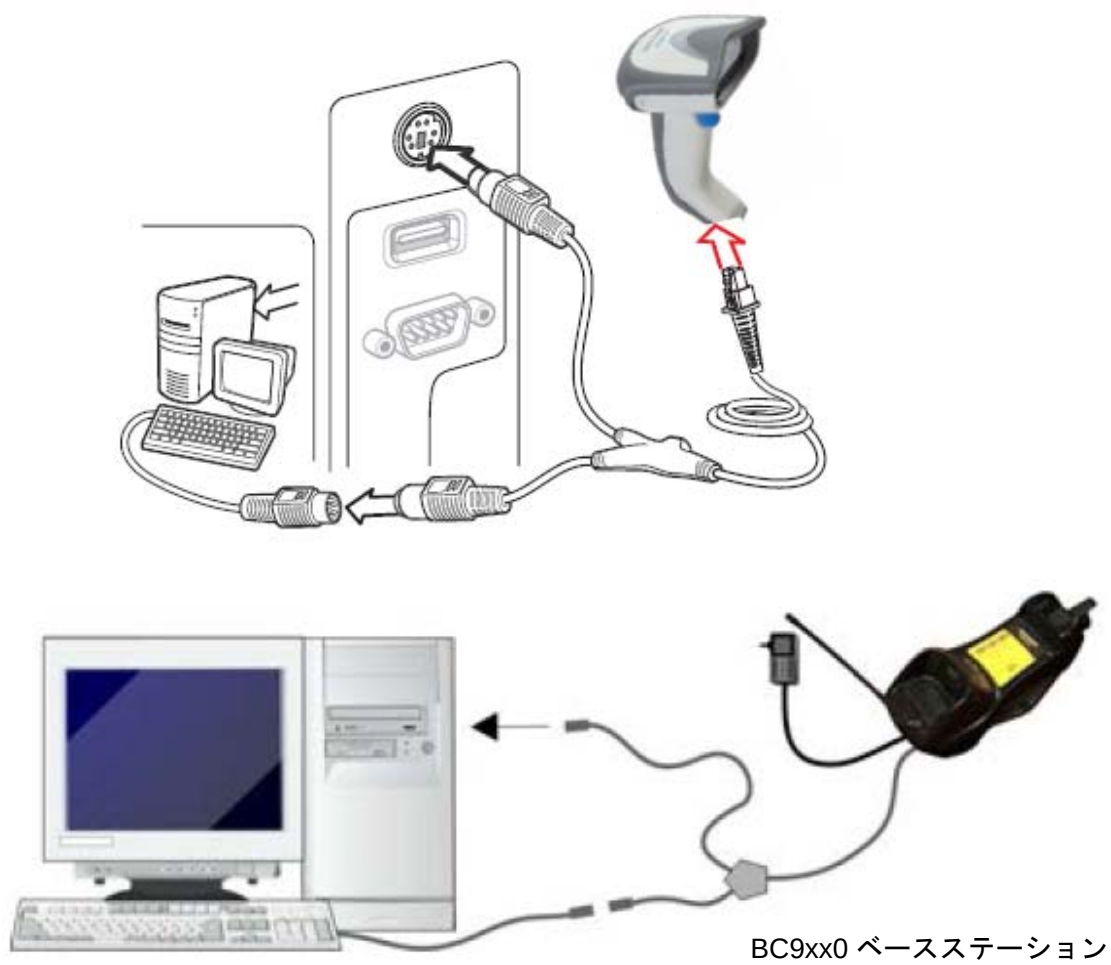
マルチインターフェース コネクタ

RS232 ケーブル接続方法



BC9xx0 ベースステーション

キーボードウェッジ ケーブル接続方法



USB ケーブル接続方法



ベースステーションセットアップ (GBT4100,GBT4400)

ベースステーションは縦置き又は横置きにすることができます。

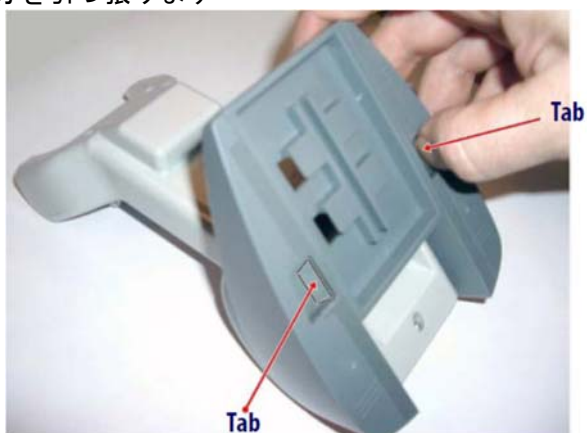


縦置き



横置き

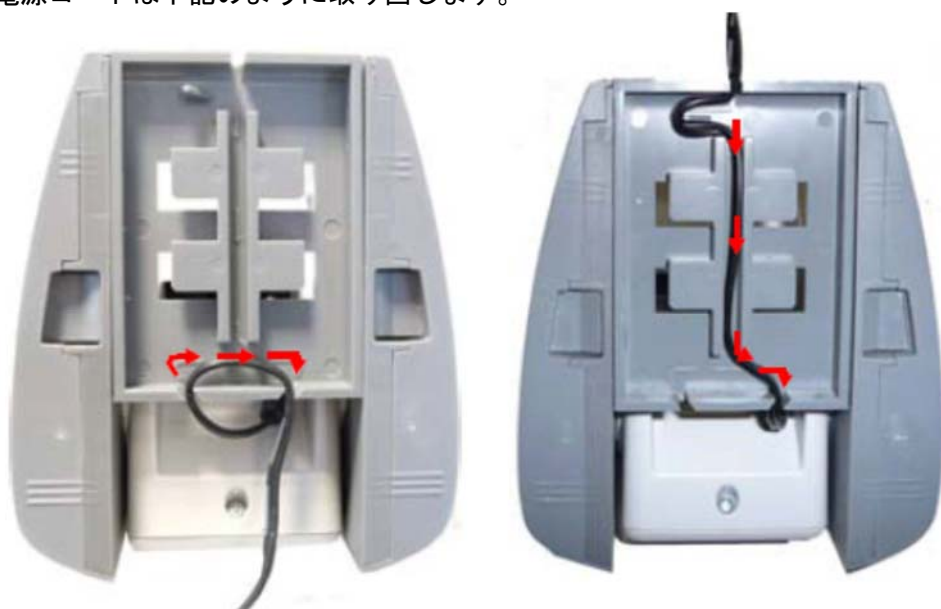
置き方を変更するにはベースステーションの裏側の"Tab"を押してそれぞれ両側の部分を引っ張ります



縦置き、横置きの溝に合わせてはめ込みます。

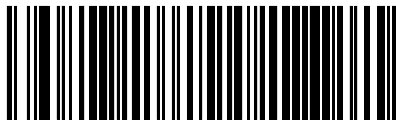


電源コードは下記のように取り回します。

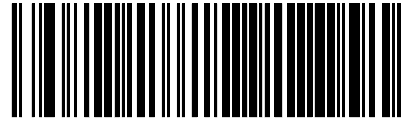


2. RS232, USB-COM 設定

インターフェースの選択



RS232

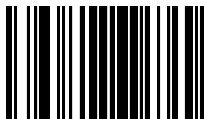


USB-COM

USB-COM インターフェースは別途ドライバーソフトウェアが必要です。ドライバーソフトウェアは下記ウェブサイトよりダウンロードして頂けます。ドライバーソフトウェアと動作環境などの詳細につきましては、販売店もしくは弊社までお問合せをして下さい。尚、環境により動作しない場合もありますので、必ず動作確認を行うようにお願いいたします。

ダウンロード先 : <http://ias.co.jp/download/>

通信ボーレート (RS232 のみ設定可能)



設定開始/終了



2,400bps



1,200bps



9,600bps

(初期値 PBT9500 シリーズを除く)



4,800bps



38,400bps

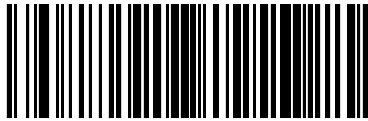


19,200bps

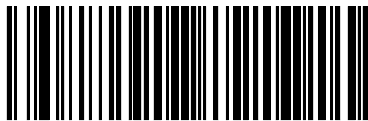


115,200bps
(初期値 PBT9500 シリーズのみ)

パリティ (RS232 のみ設定可能)



なし(初期値)



Odd

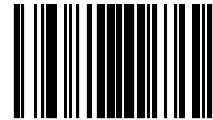
データビット (RS232 のみ設定可能)



7bit



57,600bps



設定開始/終了



Even

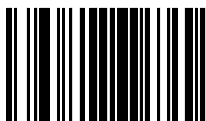


設定開始/終了

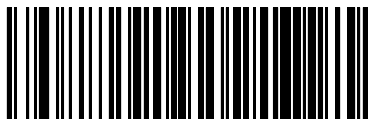


8bit (初期値)

ストップビット (RS232 のみ設定可能)



設定開始/終了

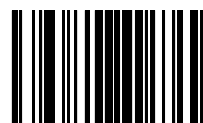


2bit



1bit (初期値)

ハンドシェイク (RS232 のみ設定可能)



設定開始/終了



RTS (初期値)



RTS/CTS



RTS/XON/XOFF



RTS On/CTS



RTS/CTS Scan Control

キャラクタ間遅延 (RS232, USB-COM 設定可能)

キャラクタ間の遅延時間を設定します。

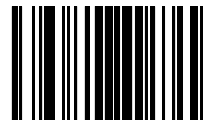
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて 2 桁の数値を入力します。

設定範囲は 0 ～ 990msec まで 10msec 単位で設定可能です。

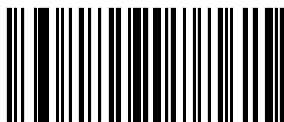
例) 00 → 0msec (初期値)

15 → 150msec

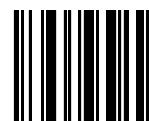
85 → 850msec



設定開始/終了

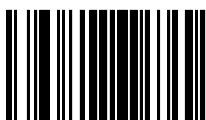


キャラクタ間遅延時間



キャンセル

ACK NAK (RS232, USB-COM 設定可能)



設定開始/終了



ACK/NAK 無効 (初期値)



ACK/NAK 有効(ラベル送信)



ACK/NAK 有効(ホストコマンド)



ACK/NAK 有効(ラベル送信&ホストコマンド)

ACK キャラクタ（RS232, USB-COM 設定可能）

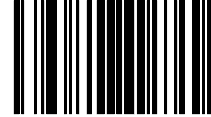
ACK キャラクタを設定します。

設定ラベルを読取後、巻末の「ASCII チャート」に記載されているキャラクタに対応した 2 桁の数値 HEX.No を「キーパッド」を用いて入力します

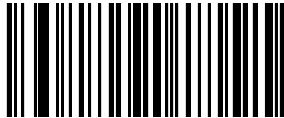
例) 06 → ACK (初期値)

24 → \$

3E → >



設定開始/終了



ACK キャラクタ設定

NAK キャラクタ（RS232, USB-COM 設定可能）

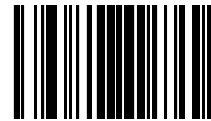
NAK キャラクタを設定します。

設定ラベルを読取後、巻末の「ASCII チャート」に記載されているキャラクタに対応した 2 桁の数値 HEX.No を「キーパッド」を用いて入力します

例) 15 → NAK (初期値)

24 → \$

3E → >



設定開始/終了



NAK キャラクタ設定

ACK NAK タイムアウト（RS232, USB-COM 設定可能）

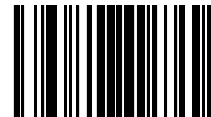
ACK NAK タイムアウト時間を設定します。

設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて 2 桁の数値を入力します。
設定範囲は 0.2～15.0sec まで 0.2sec 単位で設定可能です。

例) 01 → 0.2sec (初期値)

05 → 1.0sec

26 → 5.2sec



設定開始/終了



ACK NAK タイムアウト設定

ACK NAK リトライ回数 (RS232, USB-COM 設定可能)

ACK NAK リトライ回数を設定します。

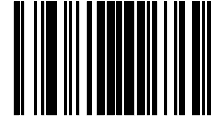
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて3桁の数値を入力します。

設定範囲は0 ~ 254 回及び無制限まで設定可能です。

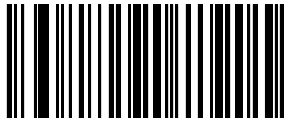
例) 000 → 0 回

003 → 3 回 (初期値)

255 → 無制限



設定開始/終了



ACK NAK リトライ回数

有効/無効コマンド設定 (RS232, USB-COM 設定可能)

スキャナの有効/無効コマンドキャラクタを設定します。

各設定ラベルを読取後、巻末の「ASCII チャート」に記載されているキャラクタに対応した2桁の数値 HEX.No を「キーパッド」を用いて入力します。

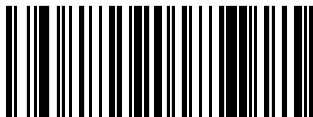
例) 44 → D (無効初期値)

45 → E (有効初期値)

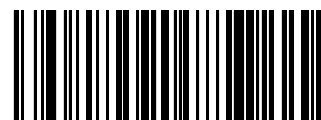
7D → }



設定開始/終了



有効コマンド



無効コマンド

3. PS2 キーボードウエッジ、USB キーボード

インターフェースの選択



デスクトップキーボード



デスクトップキーボード(ALT モード)



ノートブックキーボード



ノートブックキーボード(ALT モード)

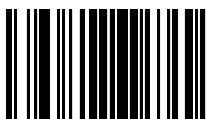


USB キーボード



USB キーボード(ALT モード)

キーボード言語



設定開始/終了



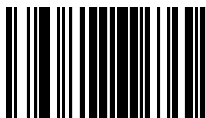
日本語 106 キー



米国 (初期値)

Caps Lock

本設定はデスクトップキーボードにて有効となります。



設定開始/終了



Caps Lock OFF(初期値)



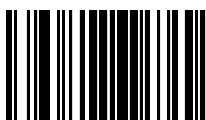
Caps Lock ON



AUTO Caps Lock Enable

Num Lock

本設定はデスクトップキーボードにて有効となります。



設定開始/終了



Num Lock アンチェンジ



Num Lock トグル

コード間遅延

コード間の遅延時間を設定します。

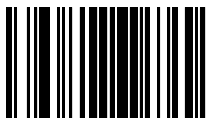
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

設定範囲は0 ~ 990msec まで10msec 単位で設定可能です。

例) 00 → 0msec (初期値)

15 → 150msec

85 → 850msec



設定開始/終了



キャラクタ間遅延時間



キャンセル

USB キーボード コントロール キャラクタ



設定開始/終了



Wedge Send Control Character(CTRL+KEY)-(初期値)

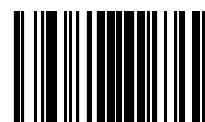


Wedge Send Control Character(CTRL+SHIFT+KEY)

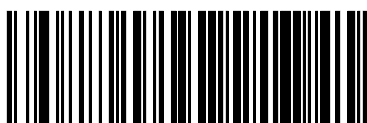


Wedge Send Control Character(Special Function KEY)

USB キーボード ポーリングレート



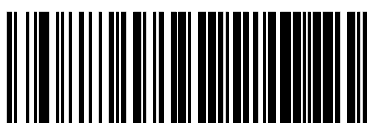
設定開始/終了



1ms(初期値)



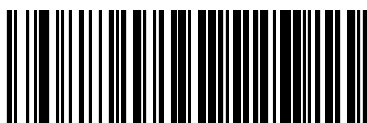
2ms



3ms



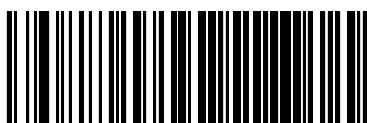
4ms



5ms



6ms



7ms



8ms



9ms

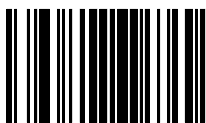


10ms

4. 機能設定

2 度読み防止時間

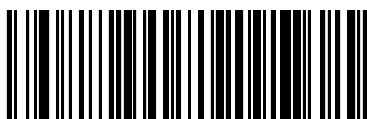
同一バーコードの 2 度読み防止をする時間の設定をします。



設定開始/終了



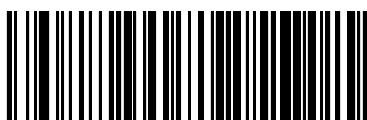
0.2sec



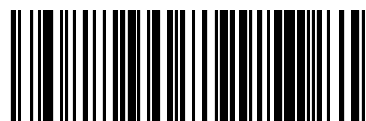
(初期値)0.4sec



0.6sec



0.8sec

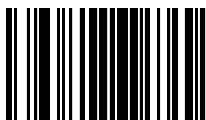


1sec

読取モード設定（GFS モデル除く）

スキャナの読取モードを設定します。

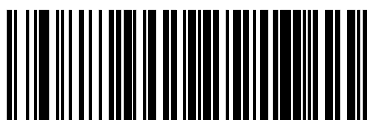
- ・ 標準トリガー：一般的なハンドヘルドスキャナの操作となります。トリガーを引き、下記状態になるまで読取可能になります
 - 約 5 秒間経過したとき
 - バーコードを読み取ったとき
 - トリガーを放したとき
- ・ トリガーホールド：トリガーを引いている間はバーコードを複数回読取可能です。但し、約 5 秒間読み取りがないと OFF となります。2 度読み防止時間が有効となります。
- ・ フラッシュ：約 1 秒毎に ON-OFF を繰り返します。
- ・ 常時 ON：トリガーを引くことなく常時 ON となります。2 度読み防止時間が有効となります。
- ・ スタンドモード：トリガーを引くことなくバーコードを近づけたときに自動的に読み取りをします。読み取りがない時は緑色スポット ON となります。この状態でトリガーを引いたときは、標準トリガーと同様の機能となります。
- ・ オブジェクトセンス：（注意:TD11x0/QBT2131/QD2430/QBT2400/GD4430/GBT4400/PD9530/PBT9500 は対応していませんので、これらの機種では絶対にこの設定をしないで下さい。）トリガーを引くことなくバーコードを近づけたときに赤色 LED が点灯し照準を定めることが出来ます。トリガーを引くことで読み取りをします。読み取りがない時は緑色スポット ON となります。この状態でトリガーを引いたときは、標準トリガーと同様の機能となります。



設定開始/終了



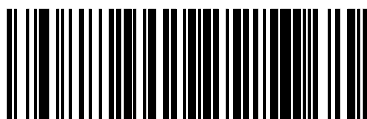
標準トリガー（初期値）



トリガーホールド



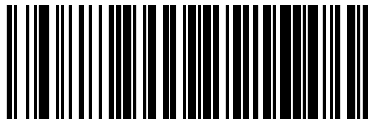
フラッシュ



常時 ON



スタンド



オブジェクトセンス

注意

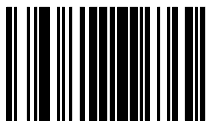
TD11x0/QBT2131/QD2430/QBT2400/GD4430/G
BT4400/PD9530/PBT9500 では左のコードは絶対に読取しないで下さい。

GD4130, GBT4100, QD2131 は以下のスタンド設定が可能です。

スタンド設定 (GD4130, GBT4100, QD2131)

スキャナをスタンドに置いた時の設定をします。(GD4130, GBT4100, QD2131 のみ)

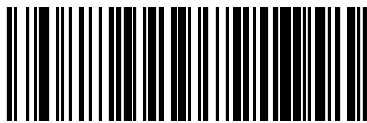
- ・ 動作なし：スタンドに置いたときに読み取りを行いません。
- ・ 自動検出：トリガーを引くことなくバーコードを近づけたときに自動的に読み取りをします。読み取りがない時は緑色スポット ON となります。
- ・ 常時 ON：トリガーを引くことなく常時 ON となります。2 度読み防止時間が有効となります。
- ・ フラッシュ：約 1 秒毎に ON-OFF を繰り返します。



設定開始/終了



動作なし



自動検出(初期値)



常時 ON

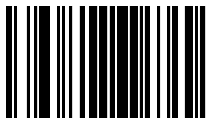


フラッシュ

読取モード設定 (GFS モデルのみ)

スキャナの読取モードを設定します。(GFS44X0 モデルのみ)

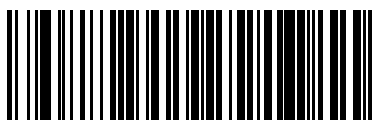
- ・ オンライン: トリガーボタンを押した時に、読取り可能となります。
- ・ シリアルオンライン: シリアルコマンドにて読取り開始、停止を制御します。開始、停止は任意のキャラクタを設定できます。
- ・ Automatic: 常時 ON となります。
- ・ Automatic オブジェクトトリガ: バーコードを近づけたときに自動的に読取ります。



設定開始/終了



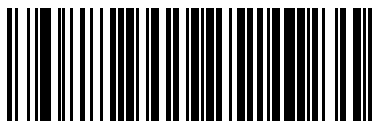
オンライン (初期値 GFS41)



シリアルオンライン



Automatic



Automatic オブジェクトトリガ
(初期値 GFS44X0)

シリアルオンラインの読取り開始、停止キャラクタの設定をします(GFS44X0 モデルのみ)。設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いての「ASCII チャート」に対応した値(hex)を入力します。20 キャラクタまで設定可能です。20 キャラクタ未満の場合は入力後「設定開始/終了」バーコードを2回スキャンして下さい。

1キャラクタの場合は、「0」「0」を追加した後「設定開始/終了」バーコードを2回スキャンして下さい。

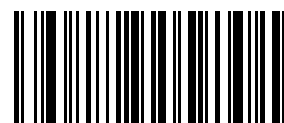
例1) \$ → 「2」「4」「0」「0」「設定開始/終了」を2回

例2) \$\$ → 「2」「4」「2」「4」「設定開始/終了」を2回

例3) \$\$\$ → 「2」「4」「2」「4」「2」「4」「設定開始/終了」を2回

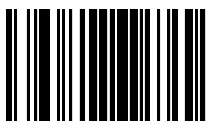


読取開始(初期値 0x02 STX)

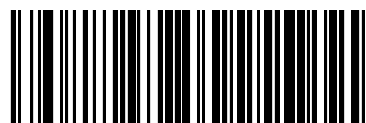


読取停止(初期値 0x03 ETX)

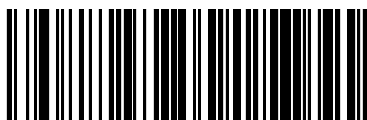
スリープモード設定



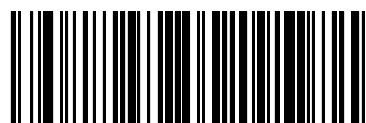
設定開始/終了



無効(初期値)



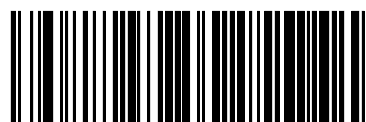
2sec



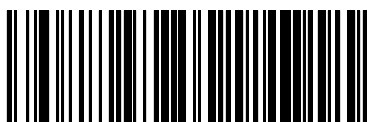
4sec



6sec



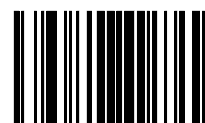
8sec



9.9sec

読取表示

読取確認の表示するタイミングを設定します(QBT2400 は未対応)



設定開始/終了



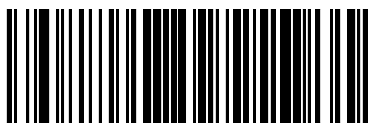
デコード後(初期値)



データ送信後

読取確認音

読取確認音の種類を設定します



モノラル(初期値)



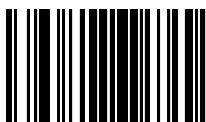
設定開始/終了



ステレオ

読取確認音質

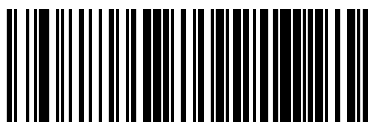
読取確認音質の種類を設定します



設定開始/終了



低音(初期値 QD2131 のみ)



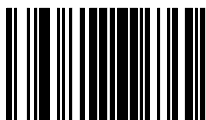
中音



高音(初期値)

読取確認音長さ

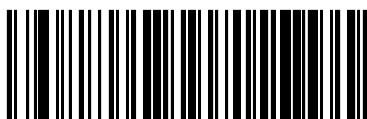
読取確認音長さ設定します。



設定開始/終了



100msec(初期値-QD2131 のみ)



160msec



80msec(初期値)



120msec



200msec

読取確認音量

読取確認音量を設定します



設定開始/終了



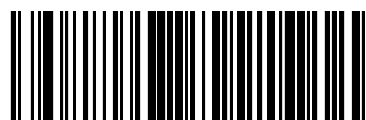
小



大(初期値)



OFF



中

読取確認 LED 表示

読取確認後の本体緑色 LED 表示時間を設定します。

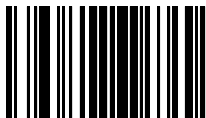
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて 3 桁の数値を入力します。

設定範囲は 0.1～25.5sec およびトリガーを引くまで表示が設定可能です。

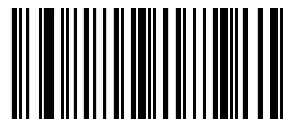
例) 000 → トリガーを引くまで表示

020 → 2sec (初期値)

255 → 25.5sec



設定開始/終了



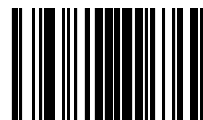
LED 表示設定



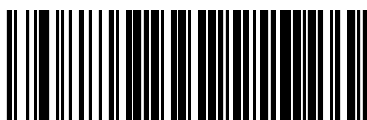
キャンセル

グリーンスポット表示

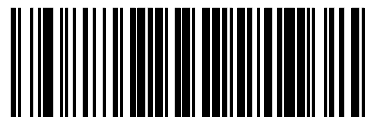
読取確認グリーンスポット表示長さを設定します。



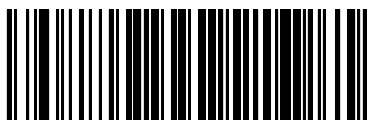
設定開始/終了



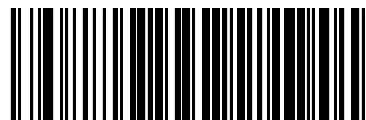
OFF



300msec (初期値)



500msec



800msec

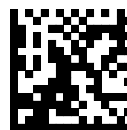
2 次元照準設定



設定開始/終了



無効



有効(初期値)

ピックモード

照準の中心のコードを読み取ります



設定開始/終了



無効（初期値）



有効

液晶画面モード

携帯電話やパソコンの画面に表示されているバーコードの読取についての設定をいたします。



設定開始/終了



無効



有効(初期値)

反転コード設定



設定開始/終了



ノーマル(初期値)
設定開始終了を
読取りせずに設定します。



反転

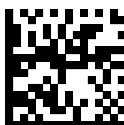
		ラベル			
		1D 通常	1D 反転	2D 通常	2D 反転
設定	ノーマル	○	×	○	×
	反転	×	○	×	○

○：読取可 ×：読取不可

2次元反転コード設定



設定開始/終了



ノーマルのみ(初期値)



ノーマルのみ（初期値）
設定開始終了を
読取りせずに設定します。



ノーマル・反転



反転コードのみ

		ラベル			
		1D 通常	1D 反転	2D 通常	2D 反転
設定	ノーマル	○	×	○	×
	反転	○	×	×	○
	ノーマル・反転	○	×	○	○

○：読取可 ×：読取不可

マルチラベル読取

1 フレーム内で複数ラベルの読取設定を行ないます。



設定開始/終了



無効(初期値)



有効

マルチラベル出力（コード長さ順）

この機能を有効にする場合には、マルチラベル読取を有効にしてください。



設定開始/終了



無効(初期値)



大きい順



小さい順

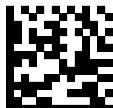
マルチラベル出力（コード種類順）

この機能を有効にする場合には、マルチラベル読取を有効にしてください。
6 種類までのコードを設定した順番で出力します。下記に示された各コード 2 桁の数値をそれぞれ 6 コード分入力し、12 桁の数値を巻末のキーパッドを用いて入力します。初期設定は 000000000000（ランダム）です

例) EAN/JAN13、CODABAR、Code39 の順で出力する場合、042324000000 と入力します。



設定開始/終了

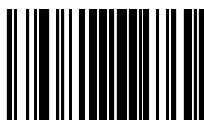


出力設定

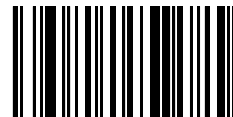
コード	値
EAN/JAN13	04
EAN/JAN 8	03
UPC-A	01
UPC-E	02
Code39	24
Code128	0C
GS1-128	0A
I 2 OF 5	22
CODABAR	23
Code93	27
GS1 DataBar オムニダイレクト	29
GS1 DataBar エクспанテッド	28
GS1 DataBar リミテッド	33
QR コード	10
DataMatrix	0E
MaxiCode	0F
Aztec	4E
PDF417	2F
MicroPDF	32
GS1 DataBar オムニダイレクト 2D コンポーネント	35
GS1 DataBar エクспанテッド 2D コンポーネント	36
GS1 DataBar リミテッド 2D コンポーネント	34

5. バーコード設定

ALL disable

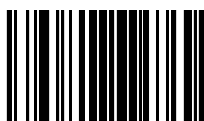


設定開始/終了



全てのコードを無効にする

EAN/JAN13



設定開始/終了

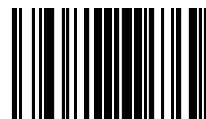


EAN/JAN-13 有効 (初期値)



EAN/JAN-13 無効

EAN/JAN13 チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効

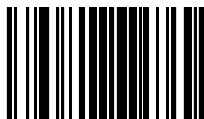


送信有効 (初期値)

EAN/JAN13 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1 回 (初期値)



2 回

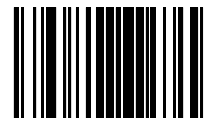


3 回



4 回

EAN/JAN 8



設定開始/終了

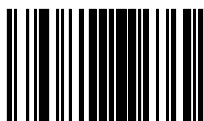


EAN/JAN 8 有効 (初期値)



EAN/JAN 8 無効

EAN/JAN 8 チェックデジット送信



設定開始/終了

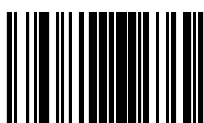


送信無効



送信有効 (初期値)

EAN/JAN 8 EAN/JAN 8 → EAN/JAN 13 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)

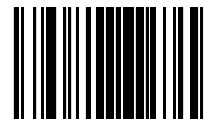


変換有効

EAN/JAN 8 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1 回 (初期値)



2 回



3 回



4 回

UPC-A/UPC-E

UPC-A



設定開始/終了

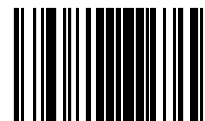


UPC-A 無効



UPC-A 有効(初期値)

UPC-A チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効



送信有効 (初期値)

UPC-A → EAN/JAN 13 変換



設定開始/終了

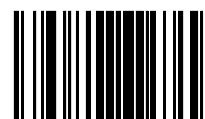


変換無効 (初期値)



変換有効

UPC-E



設定開始/終了

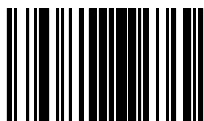


UPC-E 無効



UPC-E 有効(初期値)

UPC-E チェックデジット送信



設定開始/終了

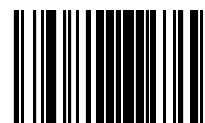


送信無効



送信有効 (初期値)

UPC-E → EAN/JAN 13 変換



設定開始/終了

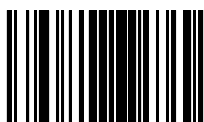


変換無効 (初期値)



変換有効

UPC-E → UPC-A 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)

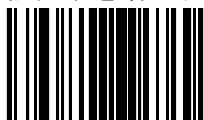


変換有効

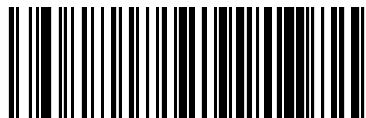
UPC-E デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

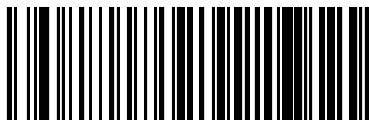
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1 回



2 回 (初期値)



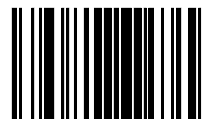
3 回



4 回

GTIN 変換

EAN/JAN13,EAN/JAN8,UPC-A,UPC-E を GTIN 14 桁の形式に変換の設定をします。



設定開始/終了

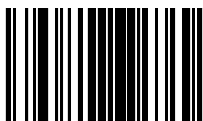


変換無効 (初期値)



変換有効

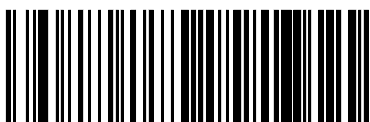
EAN/JAN/UPC アドオン



設定開始/終了



2 桁有効



5 桁有効



2 桁無効 (初期値)



5 桁無効 (初期値)

Code39



Code39 無効

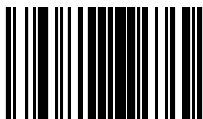


設定開始/終了



Code39 有効 (初期値)

Code39 チェックデジット計算



設定開始/終了



無効(初期値)

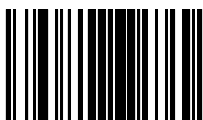


標準



Mod 7

Code39 チェックデジット送信



設定開始/終了

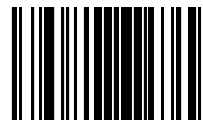


送信無効



送信有効 (初期値)

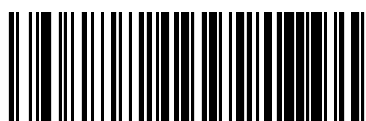
Code39 スタート/ストップキャラクタ送信



設定開始/終了

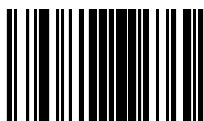


送信無効(初期値)



送信有効

Code39 Full ASCII 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)

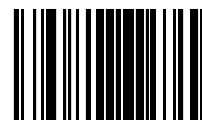


変換有効

Code39 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1 回 (初期値 : PowerScan)



2 回(初期値 : QuickScan,Gryphon)

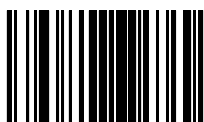


3 回



4 回

Code39 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)

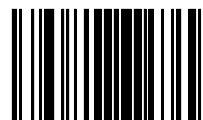


固定

Code39 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および固定桁数を 2 種設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて 2 桁の数値を入力します。

例) 02 → 2 桁 (桁数設定 1)
15 → 15 桁
50 → 50 桁 (桁数設定 2)



設定開始/終了



桁数設定 1

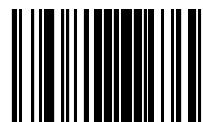


桁数設定 2

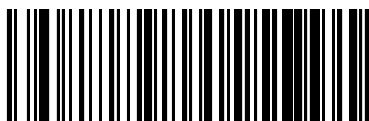


キャンセル

Code128



設定開始/終了



Code128 無効



Code128 有効 (初期値)

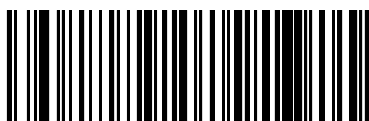
Code128 チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効 (初期値)

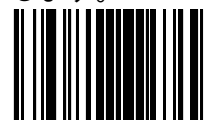


送信有効

Code128 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



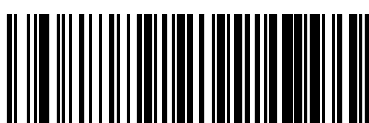
設定開始/終了



1 回 (初期値)



2 回



3 回



4 回

Code128 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)

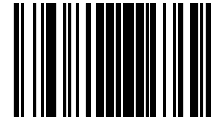


固定

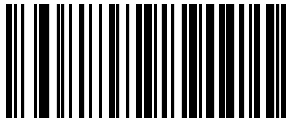
Code128 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および固定桁数を 2 種設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて 2 桁の数値を入力します。

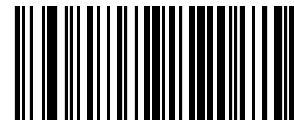
例) 01 → 1 桁 (桁数設定 1)
15 → 15 桁
80 → 80 桁 (桁数設定 2)



設定開始/終了



桁数設定 1

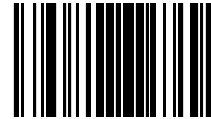


桁数設定 2

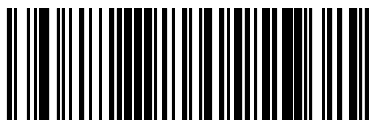


キャンセル

GS1-128



設定開始/終了



GS1-128 ラベルを
Code128 フォーマット送信

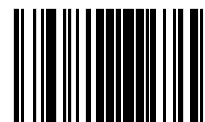


GS1-128 ラベルを
GS1-128 フォーマット送信
(初期値)



GS1-128 無効

I 2 OF 5



設定開始/終了

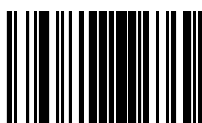


I 2 OF 5 無効 (初期値)



I 2 OF 5 有効

I 2 OF 5 チェックデジット計算



設定開始/終了

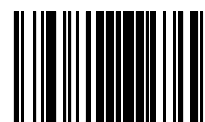


無効 (初期値)

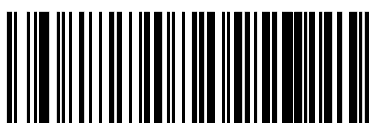


Mod10

I 2 OF 5 チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効

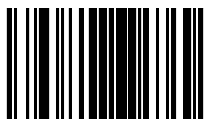


送信有効 (初期値)

12 OF 5 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

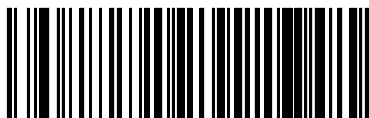
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



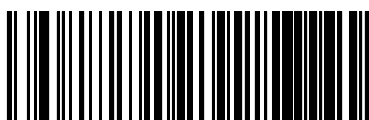
1 回 (初期値 : PowerScan)



2 回(初期値 : QuickScan,Gryphon)

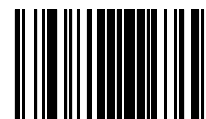


3 回



4 回

12 OF 5 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

12 OF 5 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および固定桁数を2種設定します。

設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

注意) 12 OF 5 の場合桁数は偶数桁で入力して下さい。1の位を奇数で読み込んだ場合は入力を受け付けないので、再度偶数のバーコードを読取ってください。

例) 06 → 6桁 (桁数設定1)

14 → 14桁

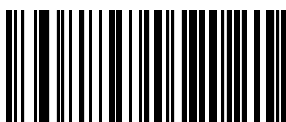
50 → 50桁 (桁数設定2)



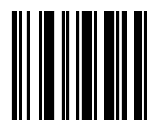
設定開始/終了



桁数設定 1



数設定 2



キャンセル

CODABAR



設定開始/終了

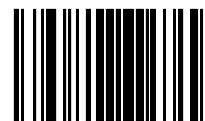


CODABAR 無効 (初期値)



CODABAR 有効

CODABAR チェックデジット計算



設定開始/終了

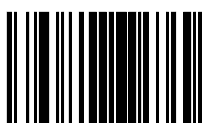


無効 (初期値)



有効

CODABAR チェックデジット送信



設定開始/終了

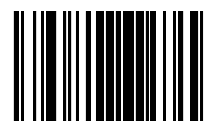


送信無効(初期値)

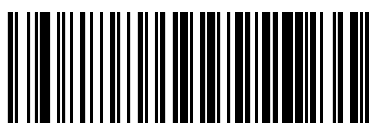


送信有効

CODABAR スタート/ストップ キャラクタ送信



設定開始/終了

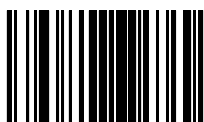


送信無効



送信有効(初期値)

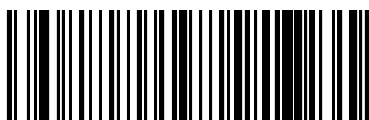
CODABAR スタート/ストップ キャラクタセット



設定開始/終了



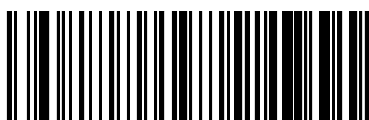
ABCD/TN*E



ABCD/ABCD



abcd/tn*e

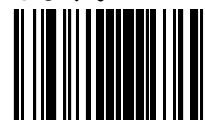


abcd/abcd (初期値)

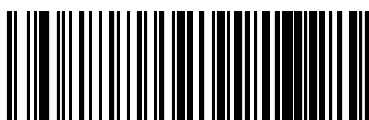
CODABAR デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



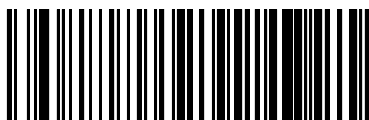
設定開始/終了



1 回(初期値 : PowerScan)



2 回(初期値 : QuickScan, Gryphon)

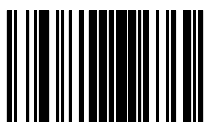


3 回



4 回

CODABAR 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

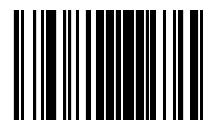
CODABAR 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および固定桁数を 2 種設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて 2 桁の数値を入力します。

例) 03 → 3 桁 (桁数設定 1)

15 → 15 桁

50 → 50 桁 (桁数設定 2)



設定開始/終了



桁数設定 1

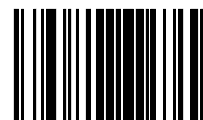


桁数設定 2

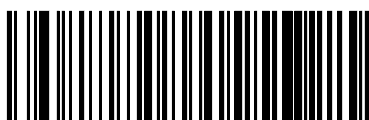


キャンセル

Code93



設定開始/終了

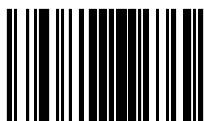


Code93 無効(初期値)



Code93 有効

Code93 チェックキャラクタ計算



設定開始/終了



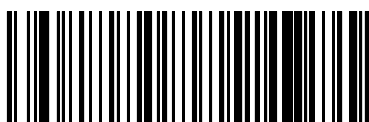
無効



キャラクタ “C”

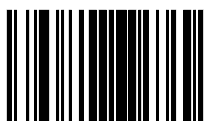


キャラクタ “K”



キャラクタ “C” 及び “K” (初期値)

Code93 チェックキャラクタ送信



設定開始/終了



送信無効

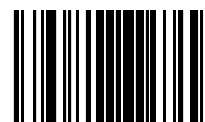


送信有効(初期値)

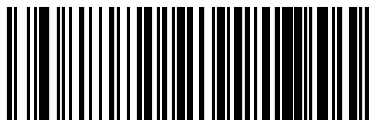
Code93 デコード検証回路

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



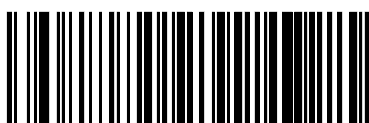
設定開始/終了



1 回 (初期値)



2 回



3 回



4 回

Code93 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

Code93 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および固定桁数を2種設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

例) 01 → 1桁 (桁数設定1)
15 → 15桁
50 → 50桁 (桁数設定2)



設定開始/終了



桁数設定 1

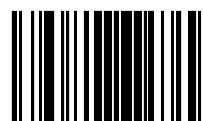


桁数設定 2



キャンセル

GS1 DataBar オムニダイレクト



設定開始/終了

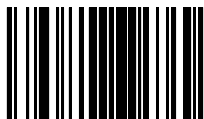


GS1 DataBar オムニダイレクト無効 (初期値)



GS1 DataBar オムニダイレクト有効

GS1 DataBar オムニダイレクト EAN/JAN128 エミュレーション



設定開始/終了



無効 (初期値)

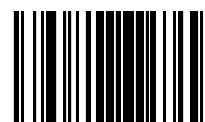


有効

GS1 DataBar オムニダイレクト デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



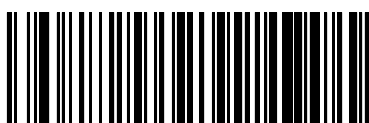
設定開始/終了



1 回 (初期値)



2 回



3 回



4 回

GS1 DataBar エクспанテッド



設定開始/終了

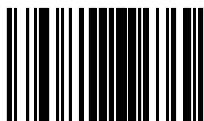


GS1DataBar エクспанテッド無効 (初期値)



GS1 DataBar エクспанテッド有効

GS1 DataBar エクспанテッド EAN/JAN128 エミュレーション



設定開始/終了



無効 (初期値)

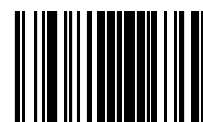


有効

GS1 DataBar エクспанテッド デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1 回 (初期値)



2 回

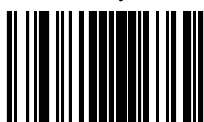


3 回



4 回

GS1 DataBar エクспанテッド デコード桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)

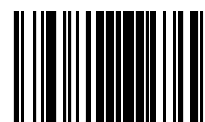


固定

GS1 DataBar エクспанテッド 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および固定桁数を 2 種設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて 2 桁の数値を入力します。

例) 01 → 1 桁 (桁数設定 1)
15 → 15 桁
74 → 74 桁 (桁数設定 2)



設定開始/終了



桁数設定 1

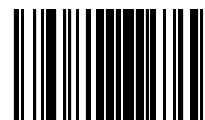


桁数設定 2



キャンセル

GS1 DataBar リミテッド



設定開始/終了

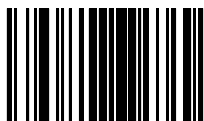


GS1 DataBar リミテッド無効 (初期値)



GS1 DataBar リミテッド有効

GS1 DataBar リミテッド EAN/JAN128 エミュレーション



設定開始/終了



無効 (初期値)

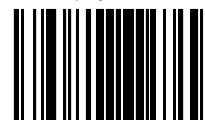


有効

GS1 DataBar リミテッド デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



設定開始/終了



1 回 (初期値)



2 回



3 回



4 回

QR コード



設定開始/終了



無効



有効(初期値)

QR コード 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

QR コード 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を 2 種設定します。桁設定範囲は 0001～7089 です。

手順 1. 「設定開始/終了」を読取ります。

2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。

3. 巻末の「キーパッド」を用いて 4 桁の数値を入力します。

例) 0001 → 0001 桁 (桁数設定 1 初期値)

7089 → 7089 桁 (桁数設定 2 初期値)



設定開始/終了



桁数設定 1



桁数設定 2

MicroQR コード



設定開始/終了



無効(初期値)



有効

MicroQR コード 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

MicroQR コード 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。桁設定範囲は0001～0035です。

手順1. 「設定開始/終了」を読取ります。

2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。

3. 巻末の「キーパッド」を用いて4桁の数値を入力します。

例) 0001 → 0001 桁 (桁数設定1 初期値)

0035 → 0035 桁 (桁数設定2 初期値)



設定開始/終了



桁数設定 1



桁数設定 2

Datamatrix



設定開始/終了



無効



有効(初期値)

Datamatrix スタイル

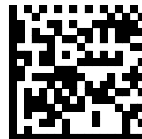
Datamatrix のスタイル設定(正方形・長方形)をします



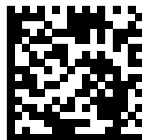
設定開始/終了



正方形



長方形



正方形・長方形 (初期値)

Datamatrix 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

Datamatrix 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。桁設定範囲は0001～3116です。

手順1. 「設定開始/終了」を読取ります。

2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。

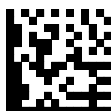
3. 巻末の「キーパッド」を用いて4桁の数値を入力します。

例) 0001 → 0001 桁 (桁数設定1 初期値)

3116 → 3116 桁 (桁数設定2 初期値)



設定開始/終了



桁数設定 1

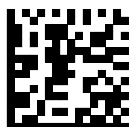


桁数設定 2

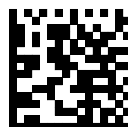
Maxicode



設定開始/終了



無効(初期値)



有効

Maxicode プライマリメッセージ送信



設定開始/終了



無効(初期値)



有効

Maxicode 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

Maxicode 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。桁設定範囲は0001～0145です。

手順1. 「設定開始/終了」を読取ります。

2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。

3. 巻末の「キーパッド」を用いて4桁の数値を入力します。

例) 0001 → 0001 桁 (桁数設定1 初期値)

0145 → 0145 桁 (桁数設定2 初期値)



設定開始/終了



桁数設定 1

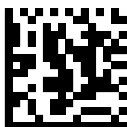


桁数設定 2

Aztec



設定開始/終了



無効(初期値)



有効

Aztec 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

Aztec 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。桁設定範囲は0001～3832です。

手順1. 「設定開始/終了」を読取ります。

2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。

3. 巻末の「キーパッド」を用いて4桁の数値を入力します。

例) 0001 → 0001 桁 (桁数設定1 初期値)

3832 → 3832 桁 (桁数設定2 初期値)



設定開始/終了



桁数設定 1



桁数設定 2

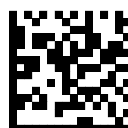
PDF417



設定開始/終了



無効(初期値)



有効(初期値)

PDF417 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

PDF417 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を 2 種設定します。桁設定範囲は 0001～2710 です。

手順 1. 「設定開始/終了」を読取ります。

2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読取ります。

3. 巻末の「キーパッド」を用いて 4 桁の数値を入力します。

例) 0001 → 0001 桁 (桁数設定 1 初期値)

2710 → 2710 桁 (桁数設定 2 初期値)



設定開始/終了



桁数設定 1



桁数設定 2

MicroPDF417



設定開始/終了



無効(初期値)



有効(初期値)

MicroPDF417 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

MicroPDF417 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および桁数を固定した場合の固定桁数を2種設定します。桁設定範囲は0001～0366です。

手順1. 「設定開始/終了」を読み取ります。

2. いずれかの「桁数設定」ラベルを読み取ります。

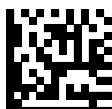
3. 巻末の「キーパッド」を用いて4桁の数値を入力します。

例) 0001 → 0001 桁 (桁数設定1 初期値)

0366 → 0366 桁 (桁数設定2 初期値)



設定開始/終了



桁数設定1



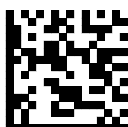
桁数設定2

GS1 DataBar オムニダイレクト 2D コンポーネント

2D コンポーネントを有効にする場合は、リニアコードも有効に設定して下さい。



設定開始/終了



無効(初期値)



有効

GS1 DataBar エクспанテッド 2D コンポーネント

2D コンポーネントを有効にする場合は、リニアコードも有効に設定して下さい。



設定開始/終了



無効(初期値)



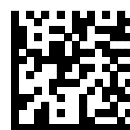
有効



設定開始/終了



無効(初期値)

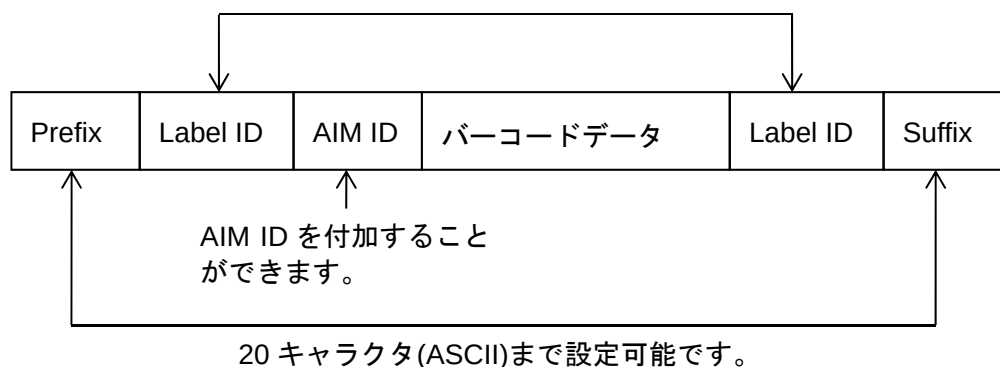


有効

6. データ編集

データ編集の概要

Label ID はバーコードデータ前後どちらかに付加することができます。Label ID は 3 キャラクタ (ASCII)まで設定可能です。



Prefix / Suffix

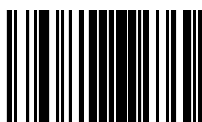
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いての「ASCII チャート」に対応した数値を入力します。20 キャラクタまで設定可能です。20 キャラクタ未満の場合は入力後「設定開始/終了」バーコードを 2 回スキャンして下さい。

1 キャラクタの場合は、「0」「0」を追加した後「設定開始/終了」バーコードを 2 回スキャンして下さい。

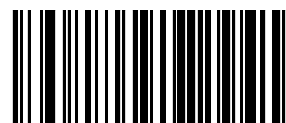
例 1) \$ → 「2」「4」「0」「0」「設定開始/終了」を 2 回

例 2) \$\$ → 「2」「4」「2」「4」「設定開始/終了」を 2 回

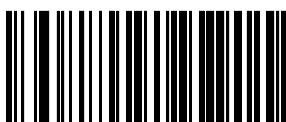
例 3) \$\$\$ → 「2」「4」「2」「4」「2」「4」「設定開始/終了」を 2 回



設定開始/終了

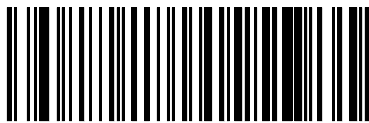


Prefix 設定

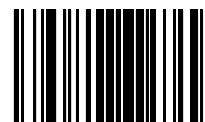


Suffix 設定

AIM ID



付加しない(初期値)

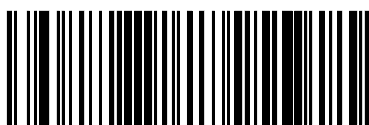


設定開始/終了



付加する

GS1-128 AIM ID



付加しない



付加する(初期値)

ラベル ID

ラベル ID コントロール

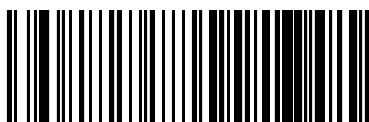
ラベル ID を付加する位置を設定します。



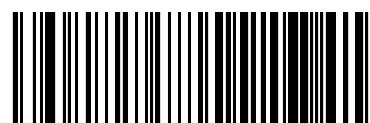
設定開始/終了



なし(初期値)



バーコードデータ前に付加



バーコードデータ後に付加

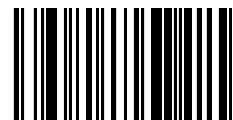
ラベル ID セット

スキャナには初期状態時に 2 種類のラベルセットが用意されています。

* ラベルセットを変更すると設定が初期値に戻ります。



設定開始/終了



ラベルセット 1(初期値)



ラベルセット 2

コードシンボル	セット 1	セット 2
CODABAR	%	R
CODE128		T
CODE39	*	V
CODE93	&	U
GS1DATABAR オムニダイレクト	R4	u
GS1DATABAR エクスパンデッド	RX	t
GS1DATABAR リミテッド	RL	v
GS1-128		k
EAN13/JAN13	F	B
EAN13/JAN13 アドオン 2	F	L
EAN13/JAN13 アドオン 5	F	M
EAN8/JAN8	FF	A
EAN8/JAN8 アドオン 2	FF	J
EAN8/JAN8 アドオン 5	FF	K
I 2 of 5	I	N
UPC-A	A	C
UPC-A アドオン 2	A	F
UPC-A アドオン 5	A	G
UPC-E	E	D
UPC-E アドオン 2	E	H
UPC-E アドオン 5	E	I
2 次元コード		
Aztec	Az	!
Datamatrix	Dm	w
MaxiCode	MC	x
PDF417	P	r
MicroPDF417	mP	8
QR コード	QR	y
Micro QR	SQ	SQ

ラベル ID 個別設定

手順	操作	例			
1	「設定開始/終了」を読取ます				
2	前頁のラベル ID コントロールで ID を付加する位置を設定します	前	後	前	後
3	ラベル ID を付加するバーコードを選択します				
4	ラベル ID(例)	DB*	=C3	+	PH
5	設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて、「ASCII チャート」に対応した数値を入力します	44 42 2A	3D 43 33	2B	50 48
6	「設定開始/終了」を読取ます				
7	「設定開始/終了」を読取ます				



CODABAR



CODE128



CODE39



CODE93



GS1DATABAR オムニダイレクト



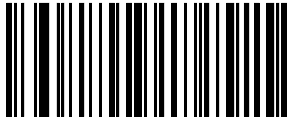
GS1DATABAR オムニダイレクト 2D コンポージット



GS1DATABAR エクспанテッド



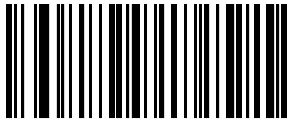
GS1DATABAR エクспанテッド 2D コンポージット



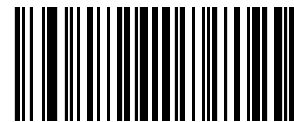
GS1DATABAR リミテッド



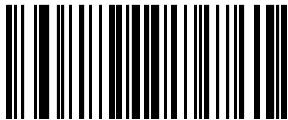
GS1DATABAR リミテッド 2D コンポージット



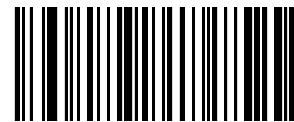
EAN/JAN13



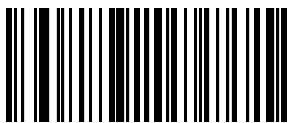
EAN/JAN13 P2



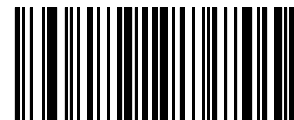
EAN/JAN13 P5



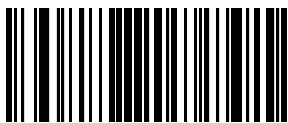
EAN/JAN8



EAN/JAN8 P2



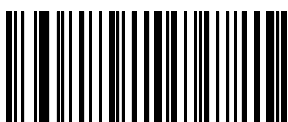
EAN/JAN8 P5



I 2OF 5



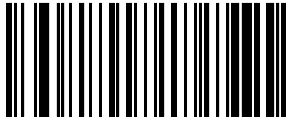
UPCA



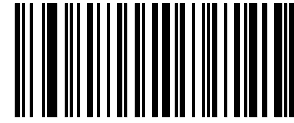
UPCA P2



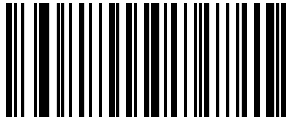
UPCA P5



UPCE



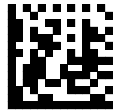
UPCE P2



UPCE P5



Aztec



DataMatrix



MaxiCode



PDF417



MicroPDF



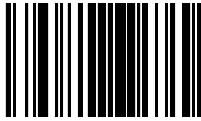
QRCode



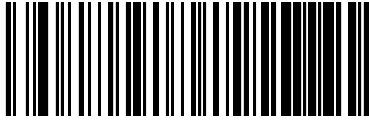
MicroQR

大文字小文字変換

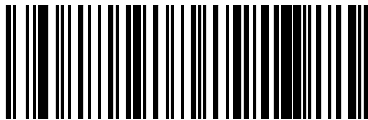
読取バーコードのデータの大文字(A～Z)小文字(a～z)変換を行います。
ラベル ID、Prefix,Suffix などの変換されません。



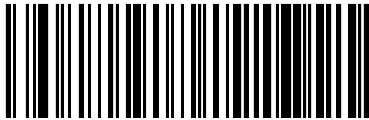
設定開始/終了



無効(初期値)



文字変換

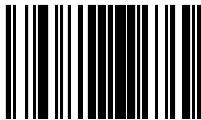


小文字変換

キャラクタ変換

4 キャラクタの組合せまでの変換が可能です。

手順	操作	例
1	「設定開始/終了」を読取ます	
2	「変換設定」を読取ます	
3	変換	A(41)→B(42) 1(31)→2(32)
4	巻末の「キーパッド」を用いて「ASCII チャート」に対応した数値を入力します。変換しない場合は「FF」となります	41423132FFFFFFFF
5	「設定開始/終了」を読取ます	



設定開始/終了



変換設定
(初期値:FFFFFFFFFFFFFFFF) 変換無し

7. Bluetooth 設定 (PBT9500, GBT4100, GBT4400, QBT2131, QBT2400)

PBT9500, GBT4100, GBT4400, QBT2131, QBT2400 各シリーズ バッテリーの取扱について

安全にお使いいただくために

- ・安全に製品をお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず下記をお読みください。

！危険

- ・バッテリーの分解・改造は絶対にしないでください。
- ・バッテリーは絶対に外部短絡させないでください。
- ・金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- ・バッテリーを火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
- ・バッテリーを水に濡らさないでください。
- ・バッテリーの端子にハンダ付けをしないでください。
- ・バッテリーを火のそばや炎天下などで使用しないでください。
- ・バッテリーは指定の機器でのみご使用ください。
- ・バッテリーに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- ・バッテリーを口に入れたり、舐めたりしないでください。
- ・バッテリーのコネクタ部分には触らないでください。
- ・電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。
- ・バッテリーを使用中、充電中、または保管中に異臭が生じたり、発熱したり、変色、変形、漏液、その他今までと異なることに気がついたときは、機器から取り外し、使用しないでください。

！充電に関する注意

- ・バッテリーの充電は 0℃~40℃の範囲で行なって下さい。
- ・所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

バッテリーが漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

ベースステーションの設定 (BC9xx0)

ホストとのインターフェースを設定します。

RS232 接続



RS232 接続

USB-COM 接続

RS232 に準拠します。



USB-COM 接続

USB キーボード接続



標準キーボード



オルタネイトキーボード

ベースステーション接続 (PBT9500)

スキャナとベースステーションの接続をします。

1. Unlink のバーコードを読取ります。
2. スキャナのトリガーを引いてから、ベースステーションにスキャナを置きます。



Unlink

注：他のスキャナとリンクしていた場合は、ベースステーションのスイッチを 5 秒以上押してリンクを解除してください。

PC 接続 - サーバーモード

接続時にエラーメッセージがある場合は、スキャナの BT セキュリティーを無効にする必要があります。



PC 接続 (サーバーモード)

PC 接続 - クライアントモード

シリアルポートプロファイルを有した Bluetooth が有効な PC にクライアントモードで接続します。

1. PC Bluetooth のアドレスが含んだ設定バーコードを下記の書式で用意します。バーコードは Code128 で作成します。

<F3>LnkB<12 桁の bluetooth アドレス>

2. COM ポートをアサインします。
3. 1 で作成した設定バーコードを読取ります。

PC 接続 - HID モード

接続時にエラーメッセージがある場合は、スキャナの BT セキュリティーを無効にする必要があります。



PC 接続 (HID モード)

PowerOff

スキャナが OFF となります。

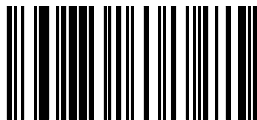


PowerOff

ベースステーション接続 (GBT4100, GBT4400, QBT2131, QBT2400)

スキャナとベースステーションの接続をします。

3. Unlink のバーコードを読取ります。
4. スキャナのトリガーを引いてから、ベースステーションにスキャナを置きます。



Unlink

ベースステーションの接続確認 (GBT4100, GBT4400, QBT2131, QBT2400)

スキャナとベースステーションの接続確認をします。

ベースステーションのボタンを長押しして放すとスキャナの 5 回ビーブ音がなります。

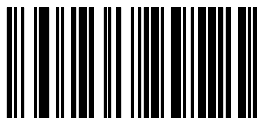
PowerOff

スキャナが OFF となります。



PowerOff

PC 接続 - サーバーモード



PC 接続(サーバーモード)

接続時にエラーメッセージがある場合は、スキャナの BT セキュリティーを無効にする必要があります。

PC 接続 - クライアントモード

シリアルポートプロファイルを有した Bluetooth が有効な PC にクライアントモードで接続します。

4. PC Bluetooth のアドレスが含んだ設定バーコードを下記の書式で用意します。バーコードは Code128 で作成します。

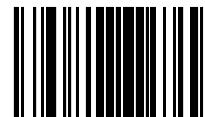
<F3>LnkB<12 桁の bluetooth アドレス>

5. COM ポートをアサインします。

6. 1 で作成した設定バーコードを読み取ります。

BT セキュリティモード

Bluetooth の認証と暗号化の設定を行います。BT PIN コードと併用して用います。



設定開始/終了



無効(初期値)



有効

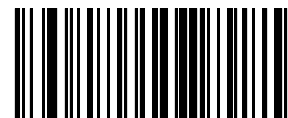
BT PIN コード

Bluetooth の PIN コードの設定を行います。

設定ラベルを読み取後、巻末の「キーパッド」を用いての「ASCII チャート」に対応した数値を入力します。



設定開始/終了



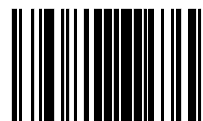
BT PIN code

初期値:1234 (31323334:ASCII)



キャンセル

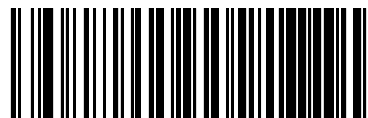
BT ポーリングレート



設定開始/終了



最大



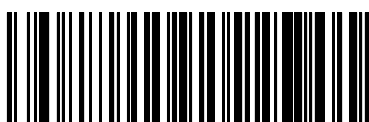
10ms



20ms(初期値)



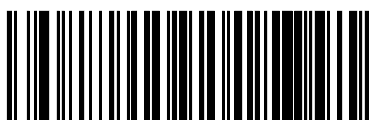
30ms



50ms



100ms



200ms



500ms

ビープ音質

ビープ音質の種類を設定します。



設定開始/終了



中音



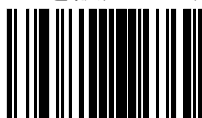
低音(初期値)



高音

ビープ音量

ビープ音量を設定します。



設定開始/終了



中



小



大(初期値)

ビーブ音長さ

ビーブ音長さ設定します。



設定開始/終了



80msec(初期値)



120msec



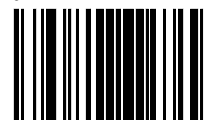
160msec



200msec

ベースステーション確認音

スキャナをベースステーションに置いたときの確認音の設定をします。



設定開始/終了



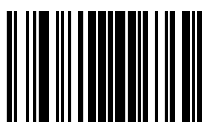
無効



有効(初期値)

通信圏外アラーム

通信圏外となった時のアラーム音長さ設定をします。
この設定を有効にするにはスリープモードを「無効」にして下さい。



設定開始/終了



無効(初期値)



1sec



3sec



5sec



10sec



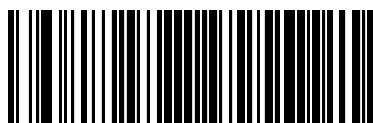
25sec

パワーダウン時間

スキャナがアイドル時に自動にパワーOFFになる時間を設定します



設定開始/終了



無効



10 分



20 分



30 分



40 分



60 分(初期値)



90 分

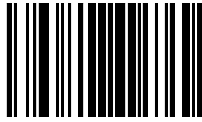
バッチモード

通信切断されているときにバーコードの読取データをスキヤナに一時的に保存する設定をします。

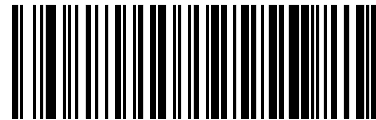
無効 : スキヤナは読取データを保存しません。

オート : 通信切断時にバーコードデータをスキヤナに一時的に保存します。通信が接続された時にデータを転送します。

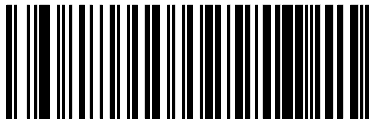
マニュアル : 常時、読取データをスキヤナに保存します。保存データは、「データ送信」バーコードを読取るとデータを送信します。また「データ消去」を読取ると、スキヤナに保存されたデータを消去することができます。



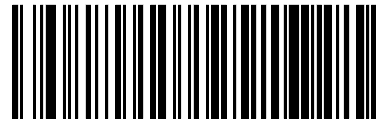
設定開始/終了



無効(初期値)



オート



マニュアル



マニュアル データ送信



マニュアル データ消去

データ送信、データ消去のバーコードは CODE128 で作成されています。

付録 A. ケーブルガイド

GD4130/GD4430 GBT4100/GBT4400 QD2131/QD2430 QBT2131/QBT2400 TD11X0

インターフェース	型式	詳細
RS232	90A051230	2m ストレート DC ジャック付
PS/2 キーボード	90G001010	2m ストレート Y 字ケーブル
USB	90A052065	2m ストレート

PD7130 PD9530/PBT9500

インターフェース	型式	詳細
RS232	CAB-459	3.6m コイル DC ジャック付
USB	CAB-467	3.6m コイル

各ケーブルの詳細は下記ホームページより PDF でダウンロード頂けます。その他のケーブルにつきましては販売店もしくは弊社までお問合せ下さい。

ダウンロード先 : <http://ias.co.jp/support/cable>

付録 B. LED 表示とビーパー音

GD4130, QD2131, TD11x0, GBT4100 スキャナ本体

表示内容	LED 表示	ビーブ音
電源 ON		高音 4 回
読取成功	緑	モノトーン
スキャナ無効(ホストコマンドより)	点滅	-
プログラミングモード(以下の表示はプログラミングモードの場合になります)		
プログラミングモード切替時	点滅	低音 4 回
ラベル読取違い	-	低音 3 回
プログラムに続きがある時	-	高音 1 回
プログラム失敗	-	低音 3 回
プログラム終了時	-	高音 1 回→低音 3 回→高音 4 回

GBT4100 ベースステーション



表示内容	LED 表示
電源 ON	黄
データ、コマンド受信	黄点滅
充電中	赤
充電完了	緑
スキャナが正しい位置に置かれていない	赤緑交互点滅
ホストとの通信が出来ていない。又はホストコマンドでスキャナが無効になっている	ゆっくり黄点滅
充電エラー	ゆっくり赤緑交互点滅

BC9xx0 ベースステーション



LED	表示内容
AUX	黄点灯：外部電源から電源を供給しています
HOST	黄点灯：ホストから電源を供給しています
READER	緑点灯：スキャナのバッテリーがフル充電の状態です。 赤点灯：スキャナのバッテリーを充電中です。 橙点滅：バッテリーが寿命です。交換してください。 赤/緑交互点滅：充電エラーです。 消灯：スキャナがないか、ベースステーションに正しく装着されていません
SPARE(BC91x0 のみ)	緑点灯：予備のバッテリーが充電されました。 橙点滅：予備のバッテリーが寿命です。交換してください。 赤/緑交互点滅：充電エラーです。 消灯：予備のバッテリーがないか、正しく装着されていません。
RADIO	緑点滅：通信中です。

PD7130 スキャナ本体

表示内容	LED 表示	ビーブ音
電源 ON		高音 10 回
読取成功	緑	低音→中音→高音
スキャナ無効（ホストコマンドより）	点滅	高音→低音→高音→低音
プログラミングモード(以下の表示はプログラミングモードの場合です)		
プログラミングモード切替時	点滅	高音 10 回
ラベル読取違い	—	高音→中音→低音
プログラムに続きがある場合	—	長めの 1 回低音
プログラム失敗	—	高音→低音→高音→低音
プログラム終了	—	

付録 C. 初期値一覧

RS232、USB-COM 設定	
通信ボーレート (RS232 のみ設定可能) PBT9500 その他	115,200 9600
パリティ (RS232 のみ設定可能)	None
データビット (RS232 のみ設定可能)	8bit
ストップビット (RS232 のみ設定可能)	1bit
ハンドシェイク (RS232 のみ設定可能)	無効
ACK NAK (RS232, USB-COM 設定可能)	無効
ACK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)	ACK
NAK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)	NAK
ACK NAK タイムアウト (RS232, USB-COM 設定可能)	600ms
ACK NAK リトライ回数 (RS232, USB-COM 設定可能)	3 回
有効／無効コマンド設定 (RS232, USB-COM 設定可能)	D / E
PS2 キーボードウエッジ,USB キーボード	
キーボード言語	米国
Caps Lock	OFF
Num Lock	アンチェンジ
キャラクタ間遅延	なし
USB キーボードポーリングレート	1ms
機能設定	
2度読み防止時間	0.4s
スリープモード設定	無効
読取表示 (QBT2400 は未対応)	デコード後
読取確認音	モノラル
読取確認音質 QD2131 その他	低音 高音
読取確認音長さ QD2131 その他	100ms 80ms
読取確認音量	大
読取確認 LED 表示	2s
グリーンスポット表示	300ms
2次元照準設定	有効
液晶画面モード	有効
2次元反転コード	ノーマルのみ
マルチラベル読取	無効
マルチラベル出力 (長さ順)	無効
マルチラベル出力 (コード種類順)	000000000000 ランダム
バーコード設定	
EAN/JAN13	有効
EAN/JAN13 チェックデジット送信	有効
EAN/JAN13 デコード検証回数	1 回
EAN/JAN 8	有効
EAN/JAN 8 チェックデジット送信	有効
EAN/JAN 8 EAN/JAN 8 → EAN/JAN 13 変換	無効
EAN/JAN 8 デコード検証回数	1 回
UPC-A	有効
UPC-A チェックデジット送信	有効

UPC-A → EAN/JAN 13 変換	無効
UPC-E	有効
UPC-E チェックデジット送信	有効
UPC-E → EAN/JAN 13 変換	無効
UPC-E → UPC-A 変換	無効
UPC-E デコード検証回数	2 回
GTIN 変換	無効
EAN/JAN / UPC アドオン	2 桁:無効 5 桁:無効
Code39	有効
Code39 チェックデジット計算	無効
Code39 チェックデジット送信	有効
Code39 スタート/ストップキャラクタ送信	無効
Code39 Full ASCII 変換	無効
Code39 デコード検証回数 PowerScan	1 回
Gryphon, QuickScan	2 回
Code39 桁数	可変
Code39 桁数設定 1	2 桁
Code39 桁数設定 2	50 桁
Code128	有効
Code128 チェックデジット送信	無効
Code128 デコード検証回数	1 回
Code128 桁数	可変
Code128 桁数設定 1	1 桁
Code128 桁数設定 2	80 桁
GS1-128	GS1-128 送信
I 2 OF 5	無効
I 2 OF 5 チェックデジット計算	無効
I 2 OF 5 チェックデジット送信	有効
I 2 OF 5 デコード検証回数 PowerScan	1 回
Gryphon, QuickScan	2 回
I 2 OF 5 桁数	可変
I 2 OF 5 桁数 1	6 桁
I 2 OF 5 桁数 2	50 桁
CODABAR	無効
CODABAR チェックデジット計算	無効
CODABAR チェックデジット送信	無効
CODABAR スタート/ストップ キャラクタ送信	無効
CODABAR スタート/ストップ キャラクタセット	abcd/abcd
CODABAR デコード検証回数 PowerScan	1 回
Gryphon, QuickScan	2 回
CODABAR 桁数	可変
CODABAR 桁数設定 1	3 桁
CODABAR 桁数設定 2	50 桁
Code93	無効
Code93 チェックキャラクタ計算	C 及び K
Code93 チェックキャラクタ送信	有効
Code93 デコード検証回数	1 回
Code93 桁数	可変
Code93 桁数設定 1	1 桁

Code93 桁数設定2	50 桁
GS1 DataBar オムニダイレクト	無効
GS1 DataBar オムニダイレクト EAN/JAN128 エミュレーション	無効
GS1 DataBar オムニダイレクトデコード検証回数	1 回
GS1 DataBar エクспанテッド	無効
GS1 DataBar エクспанテッド EAN/JAN128 エミュレーション	無効
GS1 DataBar エクспанテッド デコード検証回数	1 回
GS1 DataBar エクспанテッド デコード桁数	可変
GS1 DataBar エクспанテッド 桁数設定1	1 桁
GS1 DataBar エクспанテッド 桁数設定2	74 桁
GS1 DataBar リミテッド	無効
GS1 DataBar リミテッド EAN/JAN128 エミュレーション	無効
GS1 DataBar リミテッド デコード検証回数	1 回
2次元コード設定	
QRコード	有効
QRコードマルチフレーム	無効
QRコード桁数	可変
QRコード桁数設定1	0001
QRコード桁数設定2	7089
MicroQRコード	無効
QRコード桁数	可変
QRコード桁数設定1	0001
QRコード桁数設定2	0035
DataMatrix	有効
DataMatrix スタイル	正方形・長方形
DataMatrix 桁数	可変
DataMatrix 桁数設定1	0001
DataMatrix 桁数設定2	3116
MaxiCode	無効
MaxiCode プライマリメッセージ送信	無効
MaxiCode 桁数	可変
MaxiCode 桁数設定1	0001
MaxiCode 桁数設定2	0145
Aztec	無効
Aztec 桁数	可変
Aztec 桁数設定1	0001
Aztec 桁数設定2	3832
PDF417	有効
PDF417 桁数	可変
PDF417 桁数設定1	0001
PDF417 桁数設定2	2710
MicroPDF417	無効
MicroPDF417 桁数	可変
MicroPDF417 桁数設定1	0001
MicroPDF417 桁数設定2	0366
GS1 DataBar オムニダイレクト 2D コンポーネント	無効
GS1 DataBar エクспанテッド 2D コンポーネント	無効
GS1 DataBar リミテッド 2D コンポーネント	無効
データ編集	
Prefix	00(無し)

Suffix	OD (CR)
AIM ID	付加しない
ラベル ID コントロール	無効
ラベル ID セット	セット1
大文字小文字変換	無効
キャラクタ変換	変換無し
Bluetooth 設定	
BT セキュリティモード	無効
BT PIN コード	1234
BT ポーリングレート	20ms
ビープ音質	低音
ビープ音量	大
ビープ長さ	80ms
ベースステーション確認音	有効
通信圏外アラーム	無効
パワーダウン時間	60 分
バッチモード	無効

付録 D. キーパッド



0



2



4



6



8



A



1



3



5



7



9



B



C



D



E



F

付録 E. キーマップ

PS/2 USB キーボード

コントロールキャラクタ 01 および 02

	x0	x1	x2	x3	x4	x5	x6	x7	x8	x9	xA	xB	xC	xD	xE	xF
0x	NULL C+@	SOH C(S)+A	STX C(S)+B	ETX C(S)+C	EOT C(S)+D	ENQ C(S)+E	ACK C(S)+F	BEL C(S)+G	BS TAB	HT TAB	LF C(S)+J	VT C(S)+K	FF C(S)+L	CR Enter	SO C(S)+N	SI C(S)+O
1x	DLE C(S)+P	DC1 C(S)+Q	DC2 C(S)+R	DC3 C(S)+S	DC4 C(S)+T	NAK C(S)+U	SYN C(S)+V	ETB C(S)+W	CAN C(S)+X	EM C(S)+Y	SUB C(S)+Z	ESC Esc	FS C+I	GS C+J	RS C+^	US C(S)+_
2x	SP	!	"	#	\$	%	&	:	(	)	*	±	+	=	+	/
3x	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	:	<	=	>	?
4x	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5x	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6x	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7x	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	Del
8x	€	Sh↓	Sh↑	Ins	Ent (keyp)	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	F11
9x	F12	Home	End	Pg Up	Pg Dwn	↑	↓	←	→	Ar↓	Ar↑	Al↓	Al↑	Cl↓	Cl↑	Cr↓
Ax	Cr↑	□	‘	f	..	...	†	‡	ˆ	%	Š	◀	Š	◀	Ⓔ	□
Bx	°	±	²	³	´	µ	¶	·	,	;	°	»	¼	½	¾	¿
Cx	À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï
Dx	Ð	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	×	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	Ý	Þ	ß
Ex	à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î	ï
Fx	ð	ñ	ò	ó	ô	õ	ö	÷	ø	ù	ú	û	ü	ý	þ	ÿ

コントロールキャラクタ 03

	x0	x1	x2	x3	x4	x5	x6	x7	x8	x9	xA	xB	xC	xD	xE	xF
0x	Ar↓	Ar↑	Al↓	Al↑	Cl↓	Cl↑	Cr↓	Cr↑	BS	Tab	→	S+ Tab	Enter Keypd	Enter	Ins	Pg Up
1x	Pg Dwn	Home	←	↓	↑	F6	F1	F2	F3	F4	F5	ESC	F7	F8	F9	F10
2x	Space	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3x	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	:	<	=	>	?
4x	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5x	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6x	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7x	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	Del
8x	€	□	‘	f	..	...	†	‡	ˆ	%	Š	◀	Š	◀	Ⓔ	□
9x	□	‘	’	“	”	•	—	—	~	™	š	»	œ	□	ž	Ÿ
Ax	NBSP	¡	¢	£	¤	¥	¦	§	¨	©	ª	«	¬	®	¯	°
Bx	°	±	²	³	´	µ	¶	·	,	;	°	»	¼	½	¾	¿
Cx	À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï
Dx	Ð	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	×	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	Ý	Þ	ß
Ex	à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î	ï
Fx	ð	ñ	ò	ó	ô	õ	ö	÷	ø	ù	ú	û	ü	ý	þ	ÿ

付録 F. ASCII チャート

ASCII Char.	Hex No.	ASCII Char.	Hex No.	ASCII Char.	Hex No.	ASCII Char.	Hex No.
NUL	00	SP	20	@	40	'	60
SOH	01	!	21	A	41	a	61
STX	02	"	22	B	42	b	62
ETX	03	#	23	C	43	c	63
EOT	04	\$	24	D	44	d	64
ENQ	05	%	25	E	45	e	65
ACK	06	&	26	F	46	f	66
BEL	07	'	27	G	47	g	67
BS	08	(	28	H	48	h	68
HT	09	)	29	I	49	i	69
LF	0A	*	2A	J	4A	j	6A
VT	0B	+	2B	K	4B	k	6B
FF	0C	,	2C	L	4C	l	6C
CR	0D	-	2D	M	4D	m	6D
SO	0E	.	2E	N	4E	n	6E
SI	0F	/	2F	O	4F	o	6F
DLE	10	0	30	P	50	p	70
DC1	11	1	31	Q	51	q	71
DC2	12	2	32	R	52	r	72
DC3	13	3	33	S	53	s	73
DC4	14	4	34	T	54	t	74
NAK	15	5	35	U	55	u	75
SYN	16	6	36	V	56	v	76
ETB	17	7	37	W	57	w	77
CAN	18	8	38	X	58	x	78
EM	19	9	39	Y	59	y	79
SUB	1A	:	3A	Z	5A	z	7A
ESC	1B	;	3B	[	5B	{	7B
FS	1C	<	3C	¥	5C		7C
GS	1D	=	3D	]	5D	}	7D
RS	1E	>	3E	^	5E	~	7E
US	1F	?	3F	_	5F	DEL	7F

